記者発表資料

令和 ４年 ９月１３日
東 北 地 方 整 備 局

令和４年度 東北地方整備局入札監視委員会 総会 及び第一部会第１回定例会議の審議概要について

東北地方整備局入札監視委員会の令和４年度総会及び第一部会第１回定例会議が、令和４年７月２５日（月）、仙台市の東北地方整備局で開催されました。

総会では、委員長及び委員長代理を選任し、各委員の所属部会を決定しました。【資料１】

第一部会第１回定例会議では、委員会が抽出した案件９件の審議が行われ、意見の具申及び勧告事項はありませんでした。【資料２】

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会〉

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 東北地方整備局　仙台市青葉区本町３－３－１　TEL (022)225-2171（代表）

入 札 契 約 監 査 官　高橋（たかはし）　忠（ただし）（内線２２２０）

資料 1

東北地方整備局　入札監視委員会　総会　審議概要

開催日及び場所	令和４年７月２５日（月）　仙台合同庁舎Ｂ棟　共用第１会議室
審　議　概　要	○総会においては、下記のとおり委員長及び委員長代理の選任と各委員の所属部会を決定した。 ○その他（報告事項） 令和４年度東北地方整備局の事業概要
委　　員	委　員　長 （第一部会）　西村（にしむら）　修（おさむ）　東北大学大学院　工学研究科　教授 委員長代理 （第二部会）　小出（こいで）　英夫（ひでお）　東北工業大学　工学部　教授 委　　員 （第一部会）　赤石（あかいし）　雅英（まさひで）　公認会計士、税理士 委　　員 （第一部会）　及川（おいかわ）　雄介（ゆうすけ）　弁護士 委　　員 （第一部会）　嘉藤（かとう）　明美（あけみ）　（株）鐘崎　代表取締役社長 委　　員 （第二部会）　真田（さなだ）　昌行（まさゆき）　弁護士 委　　員 （第二部会）　砂田（すなだ）　洋志（ひろし）　山形大学　人文社会科学部　教授 （敬称略・委員は五十音順）

※　東北地方整備局入札監視委員会について

○東北地方整備局入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき設置されている第三者機関であり、次に掲げる事務を行います。

①　当整備局が発注した工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等に関し、入札・契約手続の運用状況等について報告を受ける。

②　委員会が抽出した案件に関し、その内容の審議を行い、意見の具申又は勧告を行う。

③　入札・契約手続及び指名停止等に係る再苦情処理を行う。

○委員会には、２つの部会が設置されており、第一部会は港湾空港関係事務を除く事項を、第二部会は港湾空港関係事務に係る事項を取り扱います。

資料 2

東北地方整備局　入札監視委員会（第一部会）　審議概要

<table>
<tr><td>開催日及び場所</td><td colspan="3">令和４年７月２５日（月）　東北地方整備局　大会議室</td></tr>
<tr><td>委員</td><td colspan="3">部会長　西村　　修　【(国) 東北大学大学院 工学研究科 教授】
部会長
代　理　赤石　雅英　【公認会計士、税理士】
委　員　及川　雄介　【弁護士】
委　員　嘉藤　明美　【(株) 鐘崎　代表取締役社長】</td></tr>
<tr><td>審議対象期間</td><td colspan="3">令和３年１０月１日　～　令和４年３月３１日</td></tr>
<tr><td rowspan="7">審議案件</td><td colspan="2">総件数　　９件　（別紙－１ 審議案件一覧のとおり）</td><td rowspan="7">（備考）

(1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況
(2) 指名停止等の運用状況
(3) 談合情報等の対応状況
(4) 再度入札における一位不動状況
(5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況
(6) 一者応札の発生状況
(7) 不調・不落の発生状況
(8) 高落札率の発生状況
について報告を行った。</td></tr>
<tr><td>工事</td><td>一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）　１件</td></tr>
<tr><td>工事</td><td>一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）　３件</td></tr>
<tr><td>工事</td><td>工事希望型競争入札　０件</td></tr>
<tr><td>工事</td><td>指名競争入札　１件</td></tr>
<tr><td>工事</td><td>随意契約　１件</td></tr>
<tr><td colspan="2">建設コンサルタント業務等　２件</td></tr>
<tr><td colspan="2">役務の提供等及び物品製造等　１件</td></tr>
<tr><td>委員からの意見・質問、それに対する説明・回答</td><td colspan="3">別紙－２のとおり</td></tr>
<tr><td>委員会による意見の具申又は勧告の内容</td><td colspan="3">別紙－３のとおり</td></tr>
</table>

別紙－1

抽 出 指 定 工 事 等 一 覧

（第1回定例会議：令和4年7月25日（月））

○ 抽出対象期間：令和3年10月 1日 ～ 令和4年 3月31日

○ 抽出委員名等：嘉藤委員 令和4年6月8日（水）抽出

工事に係る入札方式別抽出案件一覧　　総契約件数・・・・505件

（1）一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事）

番号	工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額（単位：千円）	落札率（単位：%）	備考
①	仙台第3地方合同庁舎（21）機械設備改修工事	暖冷房衛生設備工事	9	8	R3.11.8	新日本空調（株）	718,520	96.4	営繕部

（2）一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）

番号	工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額（単位：千円）	落札率（単位：%）	備考
②	宮城東部地区舗装修繕工事	アスファルト舗装工事	1	1	R4.3.15	（株）丸本組	116,600	98.7	仙台
③	鳴瀬川中流堰放流制御設備工事	通信設備工事	1	1	R4.3.9	（株）バンダイ通信	178,200	98.3	北上川下流
④	八幡平山系北桧木内川第2砂防堰堤工事	一般土木工事	1	1	R4.2.22	佐藤建設（株）	198,000	99.7	湯沢

（4）工事希望型以外の指名競争入札方式

番号	工事名	工事種別	指名業者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額（単位：千円）	落札率（単位：%）	備考
⑤	国道279号　小赤川橋災害復旧橋梁工事	一般土木工事	10	10	R4.3.14	大畑振興建設（株）	273,460	94.7	青森

（5）随意契約方式

番号	工事名	工事種別			契約締結日	契約の相手方	契約金額（単位：千円）	落札率（単位：%）	備考
⑥	中野横断歩道橋損傷復旧工事	鋼橋上部工事			R3.10.26	ショーボンド建設（株）	85,250	99.8	三陸国道

建設コンサルタント業務等に係る抽出案件一覧　　総契約件数・・・・343件

（1）一般競争入札方式

番号	業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額（単位：千円）	落札率（単位：%）	備考
⑦	令和3年度　補償金算定標準単価（令和4年度版）作成等業務	補償関係コンサルタント業務	1	1	R3.12.20	（株）三和技術コンサルタント	12,870	99.0	用地部

（6）簡易公募型プロポーザル方式

番号	業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額（単位：千円）	落札率（単位：%）	備考
⑧	福島県国営追悼・祈念施設管理棟他新築設計業務	建築関係建設コンサルタント業務	1	1	R3.12.24	福島県国営追悼・祈念施設管理棟他新築設計業務（株）アール・アイ・エー・（株）ブレック研究所設計共同体	44,110	99.9	東北公園

役務の提供等及び物品の製造等に係る抽出案件一覧　総契約件数・・・・172件

（1）一般競争入札方式

番号	業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額（単位：千円）	落札率（単位：%）	備考
⑨	波長多重伝送装置製造据付	物品の製造等	2	2	R3.10.18	日本電気（株）	263,791	55.7	企画部

別紙－２

１．報告	
意見・質問	説明・回答
・なし	

２．審議	
意見・質問	説明・回答
１．仙台第３地方合同庁舎（２１）機械設備改修工事	
・９者中２者が追加資料を提出せず無効となっているが、追加資料の作成は大変なのか。	・書類の軽減を図っており、追加資料を提出した業者も１者ありますので、そこまで無理な作業をお願いしている訳ではないと考えております。
・技術評価の加算点が２番目に高い業者も追加資料を提出せず無効となっているが、人手不足も大きく影響したという感じか。	・昨今の技術者不足の影響がなかったとは言えないと考えておりますが、技術者の確保や資材調達が大変な中で、低入札となってまで受注するのかという経営判断があったのではないかと考えております。
・技術者不足は今に始まったことではなくずっと言われていることだ。増員策を考えていかないと国の入札に支障を来すと考えるがどうか。	・配置予定技術者の要件を緩和するなどの工夫をして参りたいと考えております。また今回資料をダウンロードした者については技術者を備えていたものと推察しておりますが、工事内容をみて総合的な判断をされたものと考えております。
・低入札は予定価格の何パーセントか。	・９０％程度です。
２．宮城東部地区舗装修繕工事	
・対象者が１０９者で参加者が１者の要因として夜間工事を挙げていたが、仮に夜間工事でなかったら参加者はもっと増えていたか。	・交通量も多く現道規制が伴う工区なので、昼間工事であっても厳しい条件であることに変わりは無く、夜間工事より増えるかというと難しい状況があると思います。
・現場が離れている３工区を一括発注しているが､共通費による原価の低減が図られているか。	・工区が点在する場合の補正はかけております。
・一般競争入札でやれば結果的に１者入札でも仕方ないということではなく、参加者が１者の場合は指名なり随契にするか工事を分割して再発注するなど工夫すべきではないか。	・業界とも意見交換し、工区が点在する場合どのように発注すれば応札していただけるか検討して参りたいと考えております。指名競争、随意契約というお話については本局とも相談しながら検討して参りたいと思います。

３． 鳴瀬川中流堰放流制御設備工事	
・この工事は今の設備の骨格・規格をベースにアップグレードするものか、１から設計し直すものか。 ・この設備を設置したのはどこの会社か。 ・設備を設置した業者がいちばんノウハウを持っているはずだがなぜ応札しなかったのか。	・老朽化した機器を更新するもので、システムの骨格はさほど変わりません。今のシステムを動かしながら更新する必要があり、技術力を要する工事であるため、入札参加者が少なかったのかもしれません。 ・今回受注した業者以外の会社です。 ・我々も設置した業者が入札に参加すると思っていましたが参加していただけなかった。技術者が少なくなってきている状況もあり、参加に至らなかったのではないかと考えております。
４． 八幡平山系北桧木内川第２砂防堰堤工事	
・対象業者が６１者で応札が１者、しかも落札率が非常に高い。1 者応札の理由として技術者不足や現場アクセスの問題という説明があったが、発注にあたり入札参加者を何社くらい想定していたのか。 ・１者応札は常識的におかしい。これで競争と言えるのか。業者の範囲を隣県まで広げたり工期を長くするなどの工夫をしていかないと１者応札の回避は現実的に難しいのではないか。その辺のところをもっと考えていただきたい。	・これまでも同様の発注の仕方で複数社が参加していたので今回も競争になると考えておりました。 入札説明書は２７社ダウンロードしておりますので興味を持った者は結構あったと考えております。 ・ご指摘の通り１件１件毎にどのようにしたら入札参加者が増えるのかもっと工夫、検討して参りたいと思います。
５ 国道２７９号 小赤川橋災害復旧橋梁工事	
・本工事は下北半島の先の方だが、東北地方整備局全体だと指名競争で１０者も応札がある。先ほどの 1 者応札工事も業者の範囲を広げれば参加業者はもっといたのではないか。 本件については指名競争でもきちんと競争の原理が働いているといえる。 （意見）	－
６ 中野横断歩道橋損傷復旧工事	
・入札には関係ないが本工事の原因となる衝突事故を起こした者からの損害賠償はどうなるのか。	・本工事の精算額を元に相手方と協議していくことになります。

７．令和３年度　補償金算定標準単価（令和４年度版）作成等業務	
・令和２年度以前はどこの業者が受注していたのか。	・令和２年度以前も今回と同じ業者です。
・何が参入障壁になっているのか考え、複数応札できるようにするためにはどうしたらよいか考えるべきだ。予算付けの問題もあるかもしれないが毎年改訂するのがわかっているのなら早めに手続きを進めておけばよいのではないか。	・ご指摘の通り前倒し発注により参加企業の準備期間を設けるなど、より競争参加していただけるような環境をつくっていきたいと考えております。
８．福島県国営追悼・祈念施設管理棟他新築設計業務	
・共同企業体のようであるが２者のＪＶということでよいか。またこの２者は以前から本計画に関わっていたのか。	・２者の設計ＪＶです。 ＪＶのうちの１者が、平成３１年度に概略設計を受注しておりますが、今回の業務に必要な設計思想は全て明示しておりますので、概略設計を受注した業者でないと受注できないというものではございません。
・今回抽出された１者応札案件全体として、入札に参加する者がほぼ１者だと想定できたのではないか。入札手続きが不適切だということではないが、入札において競争が働かないことに関しては本質的に不十分なところがあるのではないかと感じる。　（意見）	－
９　波長多重伝送装置製造据付	
・この契約はＷＴＯ案件なので国全体の観点が重要視されると思うが、落札率が低いのは、新しい技術やハード・ソフトが使われるため予定価格が実勢価格に合わず、大きな乖離が生じたという解釈でよいか。	・工事費に占める割合の大きな部分は機器と現場工事費ですが、現場工事費については当方の積算額に近かったものの機器については乖離が生じていた。機器の価格は物価調査機関が算出したものを予定価格に採用しております。
・入札とは関係ないが、この装置は整備局内管内のデータ転送に使うものか。今後の日本のＤＸ化ということを考えると、国交省が敷設した技術が民間に広がっていけば、通信インフラの整備に多大な貢献をするのではないかと考えるがどうか。	・全国各地方整備局等を結び、インフラＤＸという形で、各整備局がデータセンターから大容量データを伝送できるような回線網を構築するために整備しているものです。このインフラは建設現場等で活用するものですので、今回整備したものを他にも紹介しながら展開できればと考えております。

別紙－３

３．委員会による意見の具申又は勧告内容

意見の具申及び勧告を行う事項はない。

ただし、今後の入札・契約手続等について意見・要望等があるのでお伝えする。

・今回の審議においても取り上げたが、１者応札については、改善のための検討を継続していただきたい。

・整備局の全国的なネットワークを活用した情報交換をご検討願いたい。

・前例踏襲ではなく、新しい時代に応じた制度のあり方というものを常に緊張感を持って考えていただきたい。

・１者応札の大きな要因である技術者不足、働き手不足の解決に向けご努力いただきたい。

【当局からのコメント】
本日は長時間にわたりご熱心にご審議をいただき、誠にありがとうございました。

委員の先生方から頂戴しましたご意見、ご要望については、今後の入札・契約事務のさらなる透明性・競争性の改善に向けて参考とさせていただき、今後の業務にしっかり役立てていきたいと思います。

今後とも引き続きご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。